

令和 7（2025）年度 第 2 回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：令和 7 年（2025 年）11 月 21 日（金）10:00～11:15

場 所：飯山市ふるさと館 体験室

出席者：青木 修、大月よし子、梨子田昌央、柴田さほり各委員
山田教育長、島崎文化振興部長、事務局 3 名

欠席者：小出清美委員

進 行：島崎部長

1 開 会

（部 長）令和 7 年度、第 2 回運営協議会を開会します。

2 あいさつ

（委員長）学びのエリア秋まつりや思い出の学校展へのご協力など日頃よりご協力いただき感謝したい。今年は学校の統合の年ということもあり、学校の歴史や地域の歴史を企画展で紹介することで、今後の未来への学びと展望へとつながったと思う。インターネットでふるさと館のロコミをみると、あるお母さんが、「子どもだけじゃなく、私も知らないことがたくさんあって勉強になった」とコメントされていた。昭和 100 年を知る世代も年を重ね伝承がだんだんギリギリになっている。地域文化の中心にあるふるさと館の役割は大きいと思う。

（教育長）今年開館 20 周年の節目を迎えたふるさと館。ふるさと学習、生涯学習の拠点としての役割を持つところ。美術館とタイアップして開催した学校展は色んな方々が協力してくれた様子。これからウインターシーズンを迎えるにあたりインバウンド客の増加が見込まれる。今日の議題の中には、そういった観光客への体験価格の設定についてもあるので、ぜひご意見をいただけるとありがたい。学校関係も、市内だけでなく中高飯水地域へもひろく発信し、歴史を学ぶ機会を持って頂くことが大事かと思う。

3 協議事項（進行：青木会長）

① 令和 7（2025）年度 10 月末までの事業経過について

（事務局）資料に基づき説明

（進 行）質問等ありますか。

（柴田委員）戸狩観光協会のセカンドスクールが以前より減ったということだが、観光局では詳しい事情は把握していない。必要なら直接お問合せを。来飯の学校数は変わっていないと思う。戸狩温泉スキー場は経営者が変わったようだが、観光協会の受け入れ体制は変わっていないと思う。

NHK ニュースで頻繁に伝統文化の講座の様子が放映されるが、ふるさと館で

も同様の講座を行っているので、地域へ広く知ってもらうために、プレスリリースを強化したら。素晴らしい取り組みなので。

質問だが、友の会の会員の新規会員はどのように増やしている？

(事務局) 募集には年に1〜2回「広報飯山」に掲載している。しかしそれによるご入会より、人づてに聞いてという方が多いようだ。

(柴田委員) ご年配の方も多いと思うが、一定の会員数を維持しているのは素晴らしい。

(大月委員) やはりロコミの力が大きいと思う。参加すると地域の学びが深まり有意義で楽しい、と。

(事務局) ふるさと館もイベントごとにプレスリリースをかけている。でも常連の報道機関しかお見えにならない。地域に知ってもらうために、今後は、より多くの報道機関に働きかけたい。

(会 長) セカンドスクールの来校数自体は減っていないのか？

(柴田委員) 詳しくは調べないとわからないが、数自体は減っていないと思う。

(会 長) 来館人数の減は、セカンドスクールのプログラムの変更などによるのか。

(館 長) 要因のひとつに「天候」があると思う。屋外活動の予定が雨により急遽来館するということがままある。最初から予定に組み込んでもらえるような働きかけが必要。

(会 長) 屋外活動の農作業で使う道具はかつてこういうものだったと、ふるさと館の実物を見てもらうのは有意義だと思う。

入館の無料の方というのはどういう方々か。

(事務局) まずは、市内の小中学生。ふるさと館友の会の会員。身障者手帳をお持ちの方。人数的に一番多いのは市内の小中学生。

(梨子田委員) 市外の学校の子どもたちは、どんな感想を持つか。把握しているか。

(事務局) 見学終了時に感想を伝えてくれる学校もある。館内にアンケートボックスを設置している。多い感想としては「昔の道具に触れることがありがたい」「実物の展示が多く勉強になる」、体験をされた場合には、「体験が楽しかった」など。

(会 長) 市内の子どもたちはどうか。

(事務局) 感想そのものはそう違いはないが、リピーターで再度来館してくれる子どもが少なからずいる。「学校で来たときに楽しかったから、家族も連れてきた」「あのとき触ったものをもう一度触りたい」など。

(部 長) 学びのエリア秋まつりは例年10月の頭だが、今年は事情により9月末の土日に行った。駅まつりと重なり集客が不安だったが、来館は多かった。駅まつりやマルシェなどとの相乗効果かと。ふるさと館の場合、弓矢や火おこしなど、一日中子どもたちが遊ぶ姿がみられた。

(館 長) 秋まつりの入館者数は、館のなかに入ってきた人数。館外の体験コーナーの参加数は入れてない。

(部 長) まつりの体験コーナーは友の会の皆さんが支えている。これだけの体験は友の会の協力なしには成り立たない。

(柴田委員) 駅まつりは JR と商工観光課が連携して行っているイベント。その日程に合わせるのも今後良いかと。

(教育長) 今年の秋まつりの土曜日は、中学校の文化祭とも重なっていた。来年のまつりの日程は？

(事務局) 来年度は 10 月の 3、4 日の予定。保育園の運動会などもその辺りが多い。行事の多い時期なので重なるのはある程度仕方がない。

(大月委員) 土曜日、学校祭で人が来ないかと思えばけっこう見えた。

(部 長) やはり飲み物食べ物があると集客に繋がる。ふるさと館の「昔なつかし駄菓子屋」も好評だった。

(梨子田委員) 最近、地域のお祭りにも屋台が来なく淋しい気がする。

寄贈資料に教科書とあるが、歴代の教科書は収蔵しているか。

(館 長) 今年、飯水教育会館から複数の教科書が寄贈された。明治はほぼ網羅している。また、ほぼ毎年一般市民の方々からも寄贈を受けている。分野とすると「歴史資料」というより「民俗資料」になる。一覧表を作るなどさらに充実を図りたい。

60 年ほど前の教科書などを見ると「懐かしい」と感じる方が多いと思う。

それぞれの年代の教科書を見てもらうことが地域学習にも繋がると思う。

(会 長) 明治の頃かと思うが、教室内で掛軸のように掛けて勉強した軸もあるか。

(館 長) ボロボロだがある。世界地図など。

② 令和 8 (2026) 年度ふるさと館運営・活動方針 (案) 及び事業計画 (案) について

(事務局) 資料に基づき説明

(進 行) 質問等ありますか。

(会 長) 学校のふるさと学習の年間計画の情報はこちらに届いているのか。

(事務局) 届いていない。

(会 長) その都度、要望に合わせて対応しているのか。

(事務局) そうです。年度当初に、「ふるさと館はこういうところ」という案内文書を各学校へ配布している。

(梨子田委員) 中学校の場合、各学年によって計画建ても違っているが、総合学習の中でただ調べて終わりではなく、子どもたちが調べたことに対して、どう思っているか、どうしていきたいか、そこへ繋げるためにふるさと館の取り組みとマッチすると思う。

(会 長) 以前は教職員の「新任者研修」でふるさと館にも来ていたようだが。

(館 長) ここ数年、初任者研修はされていないと聞く。冬のスキー講習と、市内の歴史講習はあるようだが。

(会 長) 現役の頃は、教職員は 1 回はふるさと館へ行くべきという話があったが。

まずは先生方に知ってもらいたい。

(柴田委員) 入館料を上げていき、収入を増やしていくことが大事と考える。伝統産業会館や美術館も含め。市内市外で料金を分ける r など、市の財政状況なども踏まえ、そろそろ事業として話し合いを進めていっても良い。

(事務局) 前回・前々回の運営協議会でもご意見を頂いており、見直していきたいと考えているが、他館も含め全体としての議論が必要。

(柴田委員) なちゅらの使用料は、税金を納めていない市外の方も、市内の方と同じ低料金で借りられる。市全体で見直しが必要ではないか。施設の継続には安定収入が必要。

(教育長) 他館がまだ追いついていない状況だが、来年度からは他館も着手していき、令和 9 年度にはもう少し具体的になっていくようすすめている。全体の歩調を合わせることが大事。

(柴田委員) 条例にも関わってくると思うので、バランスを取りつつ進めてほしい。

(会 長) アイネット番組「おらほの自慢」で、「神戸のイチョウ」に次いで大きいものは南条の「正行寺のイチョウ」と紹介しておりびっくり。三番目は「大川のイチョウ」。どちらも市の指定文化財。地元を意外と知らないと思った。小中学校のふるさと学習にも繋がる話題だと思った。

教育長 そんな話題も地域連携のなかのカリキュラムで整えていければ。

③ 館内体験料について

(事務局) 資料に基づき説明

(会 長) ご意見どうですか。

(柴田委員) 12 月初旬の斑尾高原の観光会議でも内容を紹介していきたい。

(事務局) スキースノボの悪天候対策としても活用されれば良いと思う。

(柴田委員) 和紙工房の和紙体験、葉書一枚が 210 円と破格の安価であり旅行会社的には助かっているとは思いますが、伝統工芸士の存続維持のためには、価格のバランス統一も大切。今後は、市内向け料金とインバウンドを含めた市外料金の二本立てでも考慮されても良いのではと思っている。

(部 長) 和紙体験の料金設定、条例などどうなっているか、少しこちらでも調べてみたい。

(柴田委員) 伝統工芸についての詳しい英語説明は、飯山市はあまり作っておらず、木島平村の方が充実している。それが有れば、体験プラス英語版パンフでいくら、など価格を上げていくことが可能。口コミの増加にもつながる。

(大月委員) 組みひも体験は 1 本で 1000 円か。

(事務局) そうです。本日頂いた意見を参考にすすめていきたい。

4 その他

神戸のイチョウの枝折れの状況について（部長説明）

5 閉 会

（部 長）それでは、これで第2回運営協議会を閉会します。本日はお忙しい中ありがとうございました。